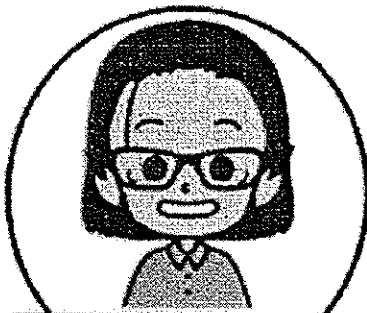


認知症サポーターキャラバン



坂入奈緒美

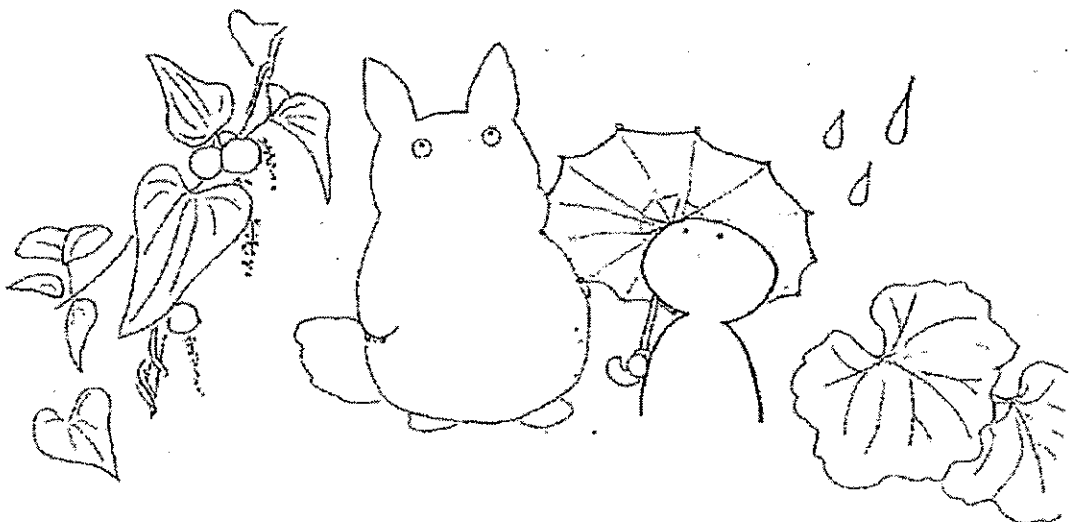
認知症になっても、希望を持ち、自分らしく生きられるように、社会全体で理解を深め、サポートしていくことが大切です。

認知症と共に生きる

- ① 認知症の人が 認知症という症状と共に、
- ② 認知症の人と 認知症ではない人が 共に、

両方の意味があります！

「認知症になったら何もできない」そんなふうに考えていませんか？
認知症であっても、さまざまな工夫をすることで「できることは自分でする」暮らしを継続していくことができます。



ご本人の暮らしを知ることが、身近な認知症の方の助けになるはずです。
ご本人の希望を知ることが、となりの認知症の方の前向きな思いを応援することにつながるはずです。



認知症とともに暮らす本人一人ひとりが体験と思いを言葉にし、
そらを寄せ合い重ね合わせる中で生まれた

「認知症とともに生きる希望宣言」

ひと足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ

(一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループが、2018年11月に発表)



1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、
前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会
の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力を
わき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になって
くれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、
暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。

次回の学習会は8月26日、18時30～総合福祉センターハピネス教養会議室にて、
内容は『私の希望リスト』です。

認知症があっても、いきいきと暮らすために大切なのは、本人が「できること」「やりたいこと」が何かを知ること。そこで役立つ『私の希望リスト』をみんなで学習します。

【お問い合わせ】

キャラバン・ロバの会

(代表) 杉之下真由美・杉田鈴子・坂入奈緒美・寺田律子・筒淵恵子・竹本礼子・板橋亜矢

事務局 下川町地域包括支援センター

☎ 5-1165(いろいろご)

代表 杉之下 真由美

☎ 090-9752-1180

